

令和8年度 63回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅰ 〈終末期援助論〉	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和8年11月	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・急性期援助論：10時間 ・回復期・慢性期援助論：12時間 ・ <u>終末期援助論</u> ：8時間
担当講師名	西 明子	所属/役職	岩手県立釜石病院
		資格・免許	緩和ケア認定看護師
授業の概要	終末期にある対象および緩和ケアを必要とする対象と家族への看護について学ぶ。		
到達目標	1. 終末期にある対象および緩和ケアを必要とする対象が理解できる 2. 各症状における援助方法が理解できる 3. 臨死期にある対象の身体的・精神的特徴が理解できる 4. 意思決定支援における看護師の役割が理解できる		
事前学習内容	テキストの該当部分を読んで予習する		
成績評価の方法	筆記試験 100点 ※上記3単元の平均点が科目の成績評価となるが、各単元で6割に満たない場合は再試験に該当する。		
使用テキスト	(1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院 学生用：【電子版】第16版 version4、講師用：第16版第5刷 (2) 看護学テキスト NiCE がん看護 第2版 南江堂		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	終末期医療の現状 緩和ケアを必要とする対象と家族の特徴 ・がん看護/慢性心不全患者/慢性呼吸不全患者/難病患者/AYA世代		講義
第2回	エンド・オブ・ライフ・ケア ① ・全人的苦痛（トータルペイン） ・症状アセスメントとマネジメント （疼痛/悪液質/呼吸困難/倦怠感/不安・抑うつ/せん妄）		
第3回	エンド・オブ・ライフ・ケア ② ・意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング（ACP） ・家族への支援		
第4回	臨死期の看護 ・身体的・精神的特徴とケア ・家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援		
12/10 予定	終講試験		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		